

国際交流ネットワーク「IEARN」の会議会場

淡路島に変更へ

7月に行われる、第10回 IEARN 国際会議の会場が、急きよ神戸三田キャンパスから淡路島に変更になった。学校の教師や生徒たちがインターネットを使い、国際交流学習を進めている世界的ネットワーク「IEARN」。今年、国際会議は、神戸三田キャンパスを会場にして、約70カ国、500人の教師や生徒が、お互い実践例を紹介しあい、交流を深める予定だった。しかし、5月中旬、SARSに感染した台湾人医師が関西に滞在するという一件が起きた。事態は変わった。神戸三田キャンパスがある三田市に、市民や自治会から不安の声が上がり始め、中止や延期を求める動きにまで発展した。これを受け三田市は、開催延期を求める決定をした。

「IEARN」側も、中国や台湾、カナダなどのSARS流行地域からの参加を認めないなど対策を示したが、三田市は開催延期を譲らなかった。これを受けて兵庫県は、「風評被害をおおることに」「このまま中止になれば、国際交流を否定することにもつながりかねない」として、会場を県立淡路夢舞台国際会議場を県立淡路夢舞台国際会議場にすることを提案。結局、予定より3日短縮して、7月21日から25日に会場を変更する形で開催することになった。開催期間中は海外65カ国から380人が参加する。会議の詳細は <http://2003.jpain.jp/> を参照してもらいたい。

読む力の低下を問う

～活字文化公開講座～

読売新聞社の提唱による活字文化公開講座「本が蘇るために」が5月31日に、「この関学で行われた。講師としてノンフィクション作家の佐野真一氏と、関西学院大学社会学部教授である宮原浩二郎氏が招かれた。

佐野真一氏は1947年、東京生まれ。早稲田大学文学部卒業後、出版社のライター、業界紙記者、出版社勤務などを経てノンフィクション作家として独立。97年に「旅する巨人」で第28回大宅壮一ノンフィクション賞を受賞している。

講座は開会のあいさつ、佐野真一氏による講演、宮原浩二郎教授の関連講演、質疑応答というものであった。

講演で佐野氏は、現代では「読む」力が低下している、と述べた。ここでの「読む」とは、本や文字を理解するだけのことではない。人の気持ち、気配や風景なども含めた人の本質的なものを理解するということなのである。これが読めないということは、人間の身体論まで入り込んだ危機である、と言った。

その理由として佐野氏は、まずマスメディアの氾濫をあげた。マスメディアが使われているのは、言葉ではなく「記号」なのだ。例えば、テレビで「地球に優しい」という言葉が使われると、具体的には意味がわからないが、何となく通じてしまう。それゆえに、「記号」なのだ。そんな記号の氾濫に我々は溺れかけていると佐野氏は言った。

また、インターネットにも原因があるという。インターネットの情報検索は素早く便利だが、探したい項目しか出てこない。これを佐野氏は「ミサイル型」と称した。それに対し、図書館等に向いて情報を採る、目的の情報が入った本を探る過程で、周りにある別の本に出会うことがある。これを「ヘリコプター型」と称した。「この情報

あるのは十分承知で言うが、一番本を殺しているのは読者である。もともと、答えの用意されている学校教育に比べて第一に、長引く不況の影響をあげた。昼ごはんを何食も抜かないと1500円の本が買えないからだ。そうすると、当然本は売れなくなり、業界は衰える。

次に、本はCDと同じで売れても3週間持たないのだ。これは年間7万、日に200点新書が出版されている。これを網羅するのは不可能で、だからその大衆の買本を買ってしまおうのだ。結果、売れる本が数週間売れ、その分他の種類の本が売れなくなる。

さらに電子本の存在がある。これにより本は実体を持たなくなってしまうのだ。しかし、人は保守的であり、色々なマイナスイメージがあっても本から得る知識や感動は捨てられない。だから本は死なない、と佐野氏は言う。

そこで、佐野氏は著書「誰が本を殺すのか」のタイトルでもある。誰か、という話を話してくれたい。誤解や反論が

行地域からの参加を認めないなど対策を示したが、三田市は開催延期を譲らなかった。これを受けて兵庫県は、「風評被害をおおることに」「このまま中止になれば、国際交流を否定することにもつながりかねない」として、会場を県立淡路夢舞台国際会議場を県立淡路夢舞台国際会議場にすることを提案。結局、予定より3日短縮して、7月21日から25日に会場を変更する形で開催することになった。開催期間中は海外65カ国から380人が参加する。会議の詳細は <http://2003.jpain.jp/> を参照してもらいたい。



「関学の反応」
関学を会場にして、このよな国際会議が開かれる機会は貴重であり、大学側は関学のアピールにもつながると期待していた。また、私たち学生にとっても、70カ国の人々と触れ合えるチャンスだっただけに、残念な結果になった。今回、特別協力という形で様々な準備を行ってきた関学。会場は変わっても、「これまでの準備を生かして、できるだけ限りの協力していきたい」と広報室の吉津麻美子さんは前向きに語った。

法学部学生大会 開かれる

学内唯一の学部学生自治会である法学部学生自治会(以下、法自)の学生大会が、6月20日に行われた。これは、法学部生の意見を集約し、その結果をもとに作成された活動方針案についての決議活動方針案を決定づける場である。この学生大会は、3限目の法学部開講の講義・授業に休講措置が取られ、開講された。なお学生大会前は、法自が法学部生に積極的に参加を呼びかけた。そして当日、今回の参加者は約200人と、前回

この学生大会は、3限目の法学部開講の講義・授業に休講措置が取られ、開講された。なお学生大会前は、法自が法学部生に積極的に参加を呼びかけた。そして当日、今回の参加者は約200人と、前回

の約70人を大幅に上回った。学生大会では、5月に全法学生を対象にゼミや語学の授業時に実施したアンケートの結果を報告するとともに、その結果をもとに作成された活動方針案についての決議活動方針案を決定づける場である。また、法自の会計報告や傘下団体による活動報告も行われた。

まず、法自会長の渡邊雅俊さん(法3)が活動方針案・決議案を読み上げた。法自側が掲げる活動方針としては、授業の改善を学部側に要求、

スポーツ大会や法学部祭といった行事を開くなどの活動の充実、学内問題の改善や全学的な自治活動に対する取り組みなどが挙げられた。その後、法学部生との質疑応答を経て採決に移った。採決で決議案は全て可決されたが、参加者が定足数に満たなかったため仮決議となり、異議申し立て期間を経て決議された。

決議内容の中で最後に取り上げられた「全学的な自治活動への取り組み」。それが実動として、法学部生だけでなく全関学学生の意見を集約・反映することが可能になる。アンケートでは6割以上の法学部生が、学生会の機能正常化に賛同の意思を示した。そして今年も、「完全なる学生自治の復興のために積極的に活動を行っていく」ことが決まった。しかし現状を見る限り、学生の自治に対する関心は決して高いとはいえない。学生の自治への関心を高めるためにはどうすればいいか。それは、法自に限らず各学生会公認団体にも求められている課題である。

FD月間って？

「FD」とは「Faculty Development」の頭文字であり、本来は「大学教員の能力や資質の開発」を意味する教育用語であるが、近年は「大学作りにおける授業や学習環境の改善への取り組み全般」を指すようになった。本学はこれまでもシラバスの公開やインターネットによる「学生による授業評価」に取り組んできたが、FD活動をより効果的にするために「FD(Faculty Development)月間」を設定し、その企画の1つとして6月13日、名古屋大学高等教育センターの池田輝政教授を招いてFD講演会を開催した。

講演の中で池田教授は、FDを「大学全体の資質開発に関する大学全体の質保証」と定義し、「大学は、授業の内容および方法の改善を図るための組織的な研修、および研究を推進しなければならぬ」と語った。さらに「FDにはベストはありえない。あくまでもグッドの段階であり、教育システムをいかにどこに顕在化していくこと



法学部学生大会の様子 (B号館201号室)

「頭では分かっているのに、という事態がよくある。人はどうだか知らない。しかし、個人的にはあり過ぎて、そりゃもう困るくらいある。例えば、レポートひとつとってもそうだ。ドラドラ机に座り日数ばかり経過する。次の

「あ、あそこどこまでやっておけば、あのときもう少し真面目にやっていたら」と後になってから悔やむ。次はこうはなるまい、と頭の中で反省しつつレポート提出日にヒーヒーという自分がない。学校に行く前に、「行くのが面倒くさいなあ」と少しずつ行く時間をずらし、あとで走って電車で飛び乗り、なけなしの210円をはたいてバスに乗るはめになる。人にはしなければいけないことがある、できれば早く終わらせた。それには早くか

「あ、あそこどこまでやっておけば、あのときもう少し真面目にやっていたら」と後になってから悔やむ。次はこうはなるまい、と頭の中で反省しつつレポート提出日にヒーヒーという自分がない。学校に行く前に、「行くのが面倒くさいなあ」と少しずつ行く時間をずらし、あとで走って電車で飛び乗り、なけなしの210円をはたいてバスに乗るはめになる。人にはしなければいけないことがある、できれば早く終わらせた。それには早くか

「あたまじゃわかってるんだが」
相田みつを

「頭では分かっているのに、という事態がよくある。人はどうだか知らない。しかし、個人的にはあり過ぎて、そりゃもう困るくらいある。例えば、レポートひとつとってもそうだ。ドラドラ机に座り日数ばかり経過する。次の

「あ、あそこどこまでやっておけば、あのときもう少し真面目にやっていたら」と後になってから悔やむ。次はこうはなるまい、と頭の中で反省しつつレポート提出日にヒーヒーという自分がない。学校に行く前に、「行くのが面倒くさいなあ」と少しずつ行く時間をずらし、あとで走って電車で飛び乗り、なけなしの210円をはたいてバスに乗るはめになる。人にはしなければいけないことがある、できれば早く終わらせた。それには早くか

「あ、あそこどこまでやっておけば、あのときもう少し真面目にやっていたら」と後になってから悔やむ。次はこうはなるまい、と頭の中で反省しつつレポート提出日にヒーヒーという自分がない。学校に行く前に、「行くのが面倒くさいなあ」と少しずつ行く時間をずらし、あとで走って電車で飛び乗り、なけなしの210円をはたいてバスに乗るはめになる。人にはしなければいけないことがある、できれば早く終わらせた。それには早くか

関学生のためのインターネットサービス
関学ネットは関西学院大学新聞総部をサポートしています

つながる・ひろがる・関学ネット

KWANGAKU.NET

計報

6月1日、安保則夫総務部長が急性白血病のため亡くなった。享年57歳。生前は総合政策学部の初代学部長として、創設当初の神戸三田キャンパスの発展に尽力した。6月4日には、関西学院教会にて告別式が営まれ、教授を知る多くの人が別れを惜しんだ。

安保教授は体育会の会長でもあった。「思ったことははっきりと言われる方で」「と語るには体育会学生本部長の検保給介(社4)さん。「僕たちのことを本気で考えて下さる方でした。会長になられてこれからの時に...」と今年も、「完全なる学生自治の復興のために積極的に活動を行っていく」ことが決まった。しかし現状を見る限り、学生の自治に対する関心は決して高いとはいえない。学生の自治への関心を高めるためにはどうすればいいか。それは、法自に限らず各学生会公認団体にも求められている課題である。

差別をなくすために 春季人権問題講演会

女性の家HELIP代表 大津氏語る

6月2日〜16日までの毎週月曜日、春季人権問題講演会が、上ヶ原と神戸三田の両キャンパスにて開催された。2001〜2004年度の総合テーマは「Culture of Human Rights―人権文化を育む」。人権問題を見直すべく、講演会には多くの人が詰めかけた。

その第1週目である6月2日、「女性への人権侵害」をテーマに、日本キリスト教婦人矯風会 女性の家 HELIP代表 大津恵子氏が招かれた。講演会前、「この講演会は、女性よりもぜひ男性に聞いてほしい。そして女性の視点に立つて考えてもらえたら」と言っていた大津氏だったが、会場では多くの男性の姿があった。

日本キリスト教婦人矯風会が設立した女性の家 HELIPでは、女性の自立を助けるための準備活動を行っている。主に、さまざまな人権侵害や暴力に直面している女性に対して電話相談をしたり、緊急避難センターとして安全な宿泊の場を提供したりしている。

今では先駆的に働いている大津氏だが、女性の家のスタッフになる前は、多くの人たちとの出会いがあった。海外生活を通じて様々な国々



「アリゾナドリーム」

1992年 フランス

氷の大地アラスカで、イヌイットの男がカレイのような魚を釣り上げる。彼はその胃袋を膨らまし風船を作る。その風船はアラスカを越え、やがてニューヨークへ、主人公アクセルのもとへたどりつく。

彼は言う。「夢と現実とは違う。でも体験してみなければ」

そんなことは分らない。アクセルは物語の中で、それを体験する。

生まれながらの俳優と自負するアクセルの友達ポール。アメリカンドリームの奇跡を信じ、時代遅れのキャデラックを売る叔父レオ。いまだ少女のように空を飛ぶことを夢見る寡婦エレイン。その義娘グレースは自殺未遂を繰り返しながらカメになりたいと願う。彼らの夢はやがて破れ、死を選ぶ者も。夢を見、夢を追いつつ、その夢が叶えられなかったとき、あなたならどうするだろう。

「君は子供だ」「早く大人になれ」、アクセルに繰り返される言葉である。私たちは今、子供でもなく大人でもない境界で揺れている。その中でアクセルもまた、不毛の地アリゾナの町を、夢と現実の間を、あるいは子供から大人への境界をさすらい歩く。彼らの夢の裏場を目のあたりにしたアクセル。大人になりきれなかった大人たちの夢の残骸のうらみ。

切なくも、どこか不思議な浮遊感覚で描かれた人間劇。夏の終わりに見ていただきたい1本である。

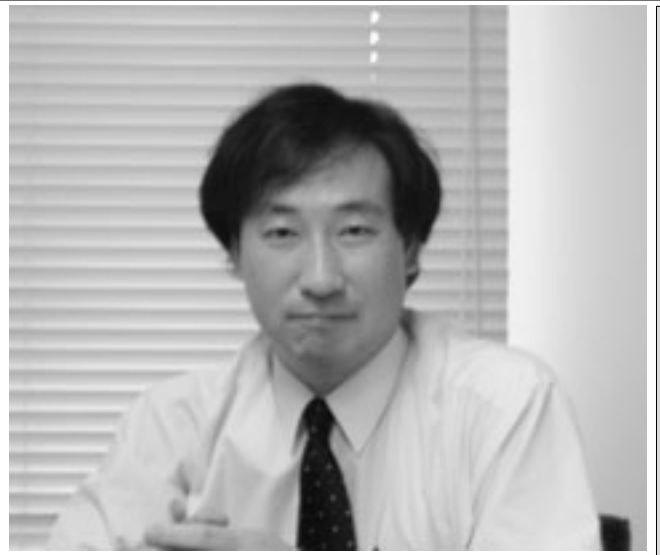
で、暴力を当たり前のものと我慢し続ける女性や、社会の底辺に生きる人たちの問題を目の当たりにした。「彼女たちは、暴力を犯罪と思わないんです。だから、彼女たちを助けたら」と思っても難しい問題がありました」と大津氏は言う。また、差別を差別と感じていない人々も多し、女性も権利を獲得するために積極的

最後に大津氏は「どんな些細なことでも、力で相手を支配すれば暴力です。もっと人権を主張して下さい。差別をなくすためには、愛と平和が不可欠です」と、訴えた。

上で、彼はうずくまる。冒頭に現れた一匹の魚が浮遊し、夕闇を目的もなく泳いでいる。これはアクセル自身を表す。20歳になり成人のレッテルを貼られたところで大人にはなれない。私たちは、浮遊した状態でアクセルと同じ苦しみを味わって生きていく。夢は必ず叶う。誰がこんな無責任なことを？夢のその多くは現実の風の中に消えてしまっている。やがてその苦しみが終わるのかもしれない。だがこの映画では、胸に迫る音楽と空に泳ぐ魚が苦しみの終わりを告げてはいない。大人になる、ということ、世間で大人といわれる人たちは何かを得たのだろうか。得たとしても、確実に失うものもある。生き続ける限り、それからは逃れられない。私たちが、今まさに何かを得ながら失い続けているのだ。

教授の背中

櫻田大造 法学部 教授



「回り道したって感じはするよね」。1999年4月、本学へ助教として就任するまでを振り返り、その言葉通り、大方の教授が大卒後にたどり着く道と比べると、たしかに先生のそれは変わった。

上智大学に入学後、留学したいという思いが膨らみ、姉妹校のシアトル大学へ留学、政治学を学んだ。「英語は目的ではなく、手段である。英語を使って何かをしたかった」。学期中は、スカラシップの条件となっていたバイトと授業に追われる日々が続いた。楽しみと言えば、「せいぜい金曜の夜に留学生仲間とパーティーをするのが楽しかった」と苦笑い。

そんな苦学生のうち、西大学を卒業。ひょんなことからカナダ政府が募集する、カナダ政府奨学金給費生に合格し、トロント大学院にて、修士課程を修了する。この時、元外交官であったジョン・W・ホームズ先生と出会ったことが、後に先生をカナダ研究へと導く。

その後、「博士課程に行った方がいいんじゃないか、学者になることも考えた」。しかし、父親の具

合が悪く、婚約者との結婚も急がれたため、手に職をつけようとして銀行に就職する。

銀行では、外国営業部で事務をこなした。「人生の中で、自分が落ちこぼれて感じたのは銀行マンの時のかな」と語るくらい仕事ができて、いつも鬱々としていた。結局、8ヶ月で何の末練もなく、職場を去るが、得るものはすくなくあった。「自分の得意なことを知っていることには、すごくいいわけ。そこから逃げればいけないから」。そして、この時、「自分には教えるしかないんだ」と気づく。

1990年4月に私立短大の大学教師となる。大卒では、学生と一緒に住んでお店を出したり、雪かきや草むしりも職員に混じってやった。

そんな中、大学で教えるという気持ちが芽生え、4年間勤めた後、徳島大学に転職、1年後には助教となる。全学部生数約1000人に対して、専任教員が150人という、ゆとりがなかった環境の中、仕事もはかどった。

しかし、教授になるためには、博士号が必要だと思った。さらに、外国に国際会議に出たり、英語の論文を書く際など、博士号をとっていないと色々と聞かれ、その度に日本のシステムを説明しなければならず、煩わしかった。「そういう点は、負けず嫌いなんでね」。ニュージブラントへ約1年間、研究員として留学。それが奮起のきっかけとな

り、その後、カナダ外交についての800ページの単著を仕上げ、阪大から博士号を取得する。

「いくつか信じていることがあって、一つは努力すれば報われること。目標があって、それに向かっていると、着実な努力をしていくと、運もあるよ。あるけど、自分の人生みてたら、どうにかあったんじゃないかって」

そして、1999年にカナダ担当教員を公募していた本学に助教として就任し、2001年から教授。

現在、先生が学生に心して教えていることを聞いてみた。「物事を批判的にみることもかな。本では著者のあらを探る。僕は国際関係論も学んでるけど、その中で、その人の人生観、世界観、人間観が反映される。だから判断するのが難しいんだよ。学生諸君にはそこを養って欲しい」。本学学生の可能性に大いに期待しているという。

最後に、学生にメッセージをもらった。「いくらでも寄り道してもいいと思うしね。いやなことからは逃げてもいい。人生、何がきっかけになるかわからないから。でも何らかの目標ができて、自分の適性がわかったら、突っ走るのいいんじゃない。それが幸せだと思うんだよね。意義のある回り道をしてきた先生だからこそ、言える言葉ではないだろうか」。

さくらだ・だいぞう
1961年 長野県生まれ
1984年 上智大学外国語学部英語学科卒業
1988年 トロント大学大学院政治学修士課程修了
専攻は 国際関係論

経営塾

- 学生時代に起業家を目指そう!!
- 会社設立・個人営業を目指している人をサポートして、企業設立迄の必要な準備作業を指導、又設立後のケアを致します。
- 学習科目：起業テーマ研究・簿記・経営計画・資金調達・法手続き・企業運営・パソコン
- 学習期間：テーマにより弾力的に設定、総て個人指導
- 昼間の部 13:00~17:00 (2人/1期)
- 夜間の部 18:00~20:00 (2人/1期)
- 費用：20万円~30万円 (講義・実習・調査費用として)
- 応募要領：履歴書1通送付下さい (パンフレット送付します)
- 商号：経営塾
- 代表：城尾 登 (昭和40年3月関学理学部物理学卒)
- 所在地：〒542-0081 大阪市中央区南船場1-33-22 大西ビル
- TEL 06-6263-2100 FAX 06-6263-2102
- 設立：平成15年1月1日

執戦幕開け 開会式

例年、梅雨の真っ只中に行われる総合開戦。今年も雨開戦で数々の感動的ドラマが心配されたが、何とか天気や名勝負が生まれ、歴史となつて引き継がれていくことを願います」と挨拶。また平松一夫学長は、「関学と関大、互いにより好敵手を得ている。試合で勝敗はつければいい。試合で勝敗はつければいい。試合で勝敗はつければいい。」とメッセージを送り、この総合開戦によってさらに両校の交流が深まることがを誓った。

小雨が降る中、関学馬術場で行われた障害馬術。試合結果は関学が減点8、関大が減点16となり、関学が3年ぶりに勝利を得た。関大側は慣れない馬場というところもあるが、落ち着かない馬もいたのに対して、関学側は比較的安定していた。特に関学のラストバッターを務める森田優さん(商1)の乗った月湖は、減点0の華麗な跳躍を見せ、盛大な拍手と歓声を浴びていた。



馬術 8-16

硬式野球 2-0

大会第1日目、小雨がぱらつく中、開会式直後に行われた試合は、関学が新谷泰隆さん(商4)、関大は岩田稔さん(商4)の先発で始まった。試合は3回裏、関学がランナー1、2塁のチャンスから2番渡邊祥一郎さん(商4)のタイムリー2ベースなどで2点を先制。その後は両投手が好投し、息詰まる投手戦となった。

9回表、関学は新谷さんが突如コントロールを乱し、1死満塁と一打同点のピンチを迎えるも、後続を気迫のピッチングでセカンドへの併殺で打ち取り、ゲームセット。試合は2対0で関学が逃げ切り、昨年、一昨年の雪辱を果した。



ここ数年、関開戦で負けなしの関学相撲部、今回もその実力を見せ付けた。試合は、団体戦3回戦と個人の総当たり戦で行われ、その中でも関学選手の活躍が目立つ。特に団体戦では、3回とも2勝1

相撲 3-0

熱闘再現!!

第26回 関開戦

バレーボール 男子 3-1

バレーボール男子は、セットカウント3-1で関学が貫禄勝ちを収めた。立ち上がり、関学は一時6点差をつけられ、試合の主導権を握られる。しかしタイムアウトを機に息を吹き返し、25-22で第1セットを奪った。

勢いに乗り次のセットも25-20で奪ったが、第3セットに入り、ミスを機にリズムを崩す。中盤に立て続けにポイントを奪われ、第3セットを22-25で落とした。しかし、関学はここで崩れずにリズムを立て直すことに成功する。主将の中川富豊さん(商4)を中心に地力を見せ、25-20で第4セットを奪い勝負を決めた。点差以上に白熱した試合で、終了後には両チームの選手に対して大きな拍手が送られた。



軟式野球 5-2

昨年は1点差で涙を吞んだ軟式野球部。今年もまた、接戦が繰り返された。試合は、関学は池田裕樹さん(商1)、関大は黒川賢一さんの先発で始まった。1回裏、相手のけん制ミスにより関学が先制点を得る。3回表、池田さんが連打を浴び1失点、4回表にも1点を失い、一時は関大にリードされるものの、5回裏、中村昌平さん(商2)の犠牲フライに続くヒットなどで2得点、関学が逆転した。さらに8回にも2点を挙げ、相手との差を広げた。後半は投手陣の好投もあって相手を抑え込んでリードを守り抜き、5-2で関学が勝利した。



レスリング 4-3

過去の成績は25戦中、関学が11勝14敗と関大に負け越しているものの、近年では関学の9連勝が続いている。



試合は、体重別による7組の対戦形式で行われた。関学、関大どちらも一歩も譲らない戦いが続く。そして、3勝3敗で迎えた、関学・大森良太さん(社4)対関大・山岡嘉仁さんの最後の対戦。OBや観客からそれぞれの名前がコールされるなど熱い盛り上がりを見せた。結果、大森さんが激戦を制し、4勝3敗で関学の勝利。連勝を10に伸ばした。

ハンドボール 女子 10-24

試合は10-24で関学が大敗。力の差がそのまま出た。



前半開始直後、関大は勢いに乗り4点を連取。関学もキャプテン宮本理恵子さん(社4)を軸に必死の反撃を図るが、関大の長嶋佐和子さんと昨季リーグ戦得点王の陶山真美さんを中心とした攻撃の勢いに衰えは見られず、前半終了時点で4-10。建て直しを図った後半も、大事なところでファウルを連発。終了間際に意地の連続得点を挙げるが、結局最後までペースを握り続けた関大が、2年連続で勝利を収めた。

お知らせ

関学新聞への御意見・御感想をお聞かせ下さい。みなさんの「声」をお待ちしています。

メール: kgpress@kwangaku.net
TEL・FAX 0798-51-1181

総合関関戦

番外編

合気道部

演武

あふれていた。関大の「杖」という棒を使った演武は、杖をうまく利用して相手を自分の思う方向に飛ばし、武道の美しさを見せていた。

関学主将の小川広樹さん(社4)は、「関学と関大では流派が違うので、試合はできないけれどお互いのいいところを吸収したい」と話していた通り、お互いがそれぞれの



「歴史の好きな人間が集まるものだ。毎年4月と11月の1週間の間行われ、観光客からの評判も上々、部員は緊張しつつも楽しんでガイドしている」と語る。斎藤さんは「他のところではまず経験できないことですよ」と言うように、古美研ならではの活動だ。

連載 クラブ・サークル生現場 Vol.2 古美術研究クラブ

「歴史の好きな人間が集まるものだ。毎年4月と11月の1週間の間行われ、観光客からの評判も上々、部員は緊張しつつも楽しんでガイドしている」と語る。斎藤さんは「他のところではまず経験できないことですよ」と言うように、古美研ならではの活動だ。

それ以外の活動も独特で魅力的だ。京都や奈良にある寺や美術館などの名所を散策したり、お茶をしたりするイベントもある。もちろん研究の

「貧困問題の存在を知ること、新しいことを考えること、につなげてほしい」。上ヶ原ハビタット副代表、瀬戸川真未さん(社3)は真剣なまなざしでこう語る。

ギャグ演武

ちとは対照的に華麗な技で怪獣をあつさり撃退する。それを見た子どもは合気道に目覚めるというストーリーだった。このギャグ演武中はそれまでの真剣な雰囲気とはうって変わって、和やかなムードで両校の選手から大きな笑い声が絶えなかった。面白みが盛りだくさんの内容で、見ている側を全う飽きさせない企画として、大成功だった。



関関戦を振り返って

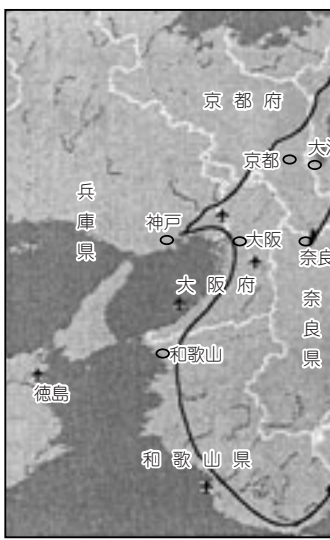
第26回総合関関戦は、16勝17敗4分で惜しくも敗れた昨年の雪辱を晴らす形となった。前哨戦では負け越したものの、終わったれば圧勝だった。「関西敵なし」といわれる自動車部がまさかの黒星を喫したものの、その他の試合では着実に白星を積み重ねていった。総合成績にはカウントされないが、ラクトロス部も体育会昇格後の初関関戦を白星で飾った。今年ほどに、関関戦の直前に体育会会長の安保則夫教授が亡くなったこともあった。「負けられない」と意気込んだ体育会員も少なくなかった。ところで、この総合関関戦には負けた方の大学の応援団団長や体育会本部長らが丸坊主になるという風習がある。



関関戦の応援風景

自転車での草の根的ボランティア

「貧困問題を知った時、フィリピンに生まれなくてよかったと思っただけはほしくないです。遠くのことを考えることで自分たちのことを考えてほしいですね。」



「あまり堅くならず、話しかけるような形で高校生と向き合いたい」と講演に向けての意気込みを語る瀬戸川さん。身近な大学生だからこそできる講演を目指すという。

4F Fujiya Hall 3F 18座敷宴会会場
12名様~70名様対応
2F 全席榻ごたつ風
小上り6名様が5間
24名様用の中広間
12名様用個室

カラオケ・照明・音響設備
プロテクター・投影スクリーン有り!
イベント・パーティー・コンサート
ディナー・ショー等の演出できます!

コンパ・各種宴会・パーティ受付中!

居酒屋 ぶじや 本店
〒662-0832 西宮市甲斐町1丁目4-9
OPEN PM 5:00~深夜12:00
Tel & Fax 0798-64-5624

やとりクーポン券

炭火焼 焼鳥

門戸厄神駅前

◎中ビール・酒一合・耐ハイのいすれか一杯
◎本券一枚でお二人様以上全員に
◎有効期限 8月末日まで有効

営業時間 十七時~二十三時
予約専用電話 〇二〇-五三-五七七九
<http://www.yatori.com/>

見る側から → 作る側へ

せつかくの大学生生活、何かやり甲斐のあることをしたい。
あなたの行動力と、あなたの想像力でこの関西学院大学新聞を作ってみませんか?
“Inspire Your Creativity”
関西学院大学新聞総部です。

部 室: 新学生会館3F エレベーター裏
連絡先: kgpress@kwangaku.net 新聞総部

新聞総部ホームページアドレス
<http://member.kwangaku.net/kgpress/>

祝5周年 見たい・知りたい・伝えたい

フランス・ドイツ週間 大特集!

フランス週間

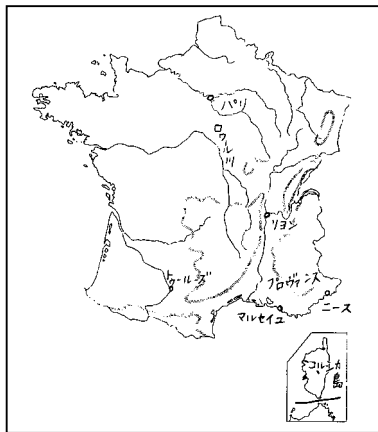
6/9 ~ 6/13

フランス週間のコンセプトは、フランス文化を全学部の学生や教職員に、身近に触れてもらおう、というものです。それは英米文化が大きく取り扱われている中で、それだけではないのだという思いも込められています。学生の活躍も目立つが、今回話を聞いた関谷先生はさらなる学生の参加を求め、また学外の人にも開かれていることをアピールした。

フランスを旅しよう

この夏、どこかへ旅に出かけますか? 長い夏休みはゆっくり旅ができる絶好の機会。6月11日、図書館ホールにてフランス旅行紹介が行われ、先生と大学院生4人が、それぞれの思い出の場所やおすすめを語った。

まず加藤先生はパリ。高所からパリの街を見渡す、というのが先生のおすすめだ。エッフェル塔やノートルダム寺院など場所を変えれば、違った表情のパリを見ることが出来る。また博物館、美術館が数多くあるので、欲張らず、どれか1館に絞ってゆっくり鑑賞する方がよい。パリの通りには全て名前がある。地図があれば迷うことはない。



生活も垣間見ることができ、塚田さんは「パリでブランド物を買うだけではもったいない。自分

関谷先生はリヨンを紹介。パリから新幹線TGVで2時間の場所にある都市リヨンは、美食の街ともよばれる。そんなリヨンの郷土料理を味わいたい人はブッシュオンといわれる専門のレストランへ。日本人には重たい味だが、本場を味わうのも旅の楽しみのひとつだ。

次に南仏を紹介したのは大学院生の岩津さん。南仏とは主にマルセイユからニースまでのことだが、場所によって雰囲気が全く異なるという。トゥールーズはレンガ造りの町並み特徴で、プロヴァンスでは対照的に白い町並みが注目する。違いがあっても面白く、このように建築などに白いと岩津さんは話した。

だけのスポットを見つけられ、自分だけの思い出をつくるのができます。紹介が終わると、関谷先生は古城で有名なロワール川河畔、フランス国内とは違う野性的で美しい風景が広がるコルシカ島を加えて紹介した。最後に関谷先生は「海外へ行く」と日本を考慮する機会にもなります。さらに外国人をみることで自分をみる、ということもできます。できるだけ若いうちに海外の色々な所を旅してください」と締めくくりました。

ボンジュール! 珈琲屋 伊藤

関西学院会館横のオハラホールでは、学生によるカフェ「珈琲屋伊藤」が開かれた。中に入ると、店長の伊藤亮太さん(文3)を中心に、学生たちが「Bonjour!」と明るく迎え入れてくれた。彼らと客としてカフェを訪れた学生たちが、時折簡単なフランス語を交していた。

メニューはキッシュ(¥300) ガトーショコラ(¥500)。ひとくち食べれば皆幸せそうな表情をみせる本格的な味わいで、フランスの街角へと私た

初体験 ヘタタケ大会

6月12日、11時から15時まで、メイングラウンドにてペタンク大会が開催された。そもそもペタンクとは、南仏の方言「pied tangué」(固定された足)に語源をもつ語である。ルールは、2人1チームで2チームが同じ場所対戦する。そして決められた場所から地面に置いた的の方向に、足を動かさず、手のひらに収まる大きさの鉄のボールを投げる。ペタンクは、どれだけそのボールを的に近づけるかが勝負。



大会の参加者は主にインテンスイブ・コースの学生が中心で、ブルゴス先生とクリストフ・シエラ先生とクリストフ・シエラ先生の指導を受けて、フランスの伝統的なスポーツに親しんだ。ボールを投げる強さや角度を調整するのが難しく思ったが、終わりが近づくと、相手チームのボールをはじく技を見せ

けることができるかを競うものである。相手のボールをはじいて自分のボールを的に近づけてもよく、陸上版のカリリングともいえるだろう。発祥国フランスでは約500万人がプレーするペタンク。これはサッカー、サイクリング、テニスに続くフランス第4のスポーツといわれている。フランス選手権や世界選手権も開催されており、日本にもペタンク連盟が存在する。今回の大会の指導者バスケル・ブルゴス先生は、なんとフランスと日本の公式大会での優勝経験をもつ。

優勝チームの工藤真裕さん(文2)はペタンクについてこう語った。「鉄のボールをやわらかく、ふわっと投げることがコツ。めっちゃ楽しかったです。優勝できてうれしい!」あまり日本ではなじみのないスポーツだが、誰もが気軽にプレーできる。この日の参加者の中に、将来の世界大会優勝者がいるかも……。

気分は フランス人★ 暗誦大会

フランス語を話す、聞く、読む、書く——でもどうすればうまくいけるのか。フランス週間の一環として開催された暗誦大会は、あらゆる人々がフランス語に興味をもつきっかけとなるように行われ

た。これは、フランス語の物語や詩を暗記し、いかに上手く読めるかを競う企画である。出場したのは森有紀さん(文1)、谷香朋里さん(文2)、宮岡由佳さん(文4)、内川佳織さん(文4)、井上佳人さん(法1)の5人。それぞれのフランス語歴にあわせて課題が与えられた。出場者は課題文をほぼ完璧に暗記しており、彼らの表情豊かで優れた朗読は訪れた学生たちの心をつかんだ。厳正な審査の結果、見事優勝したのは谷香朋里さん。発表までには谷香朋里さんが、発表中にカセットテープを繰り返して聞き、自分なりにキャラクターを演じることに専念した。「嬉しい、やったー!」と緊張から解放された谷さんは、小4から中3までフランスで過ごしたという帰国子女。満足したという帰国子女。満

面笑顔で、優勝賞品の図書券と朗読カセットテープを手にした。異なる言語の作品を流しうに、気持ちを込めて、すらすらとしゃべることができ。それは、外国語を学ぶ学生にとって一つの目標である。この企画は、今年12月にも行う予定とのこと。フランス語に好奇心たっぷりな人、言語に興味のある人、言葉遊びの好きな人、じかにフランス語に触れてみたいと思う人は、是非次回の暗誦大会にチャレンジしてみようか。

パーティー比較 フォーマル フランス カジュアル ドイツ

「乾杯!」の声とワイングラスがふれあう音と共に、フランス週間の最後を飾るワインパーティーが始まった。会場である関西学院会館「光の間」に集まったのは学生や本学の仏語教師、そして一般の人々。中にはなんとプロの仏語通訳の方たちも。壁際には5種類ほどの軽食と、ブルゴニニューワイン、ポルドーワインをはじめとするフランスワインがずらり。その数約50種類。どれを飲もうかと悩むの

もまた楽しい。ワインを選んだのは主催者のひとりである関谷先生。メニューも昨年のものよりは豪華に、と赤字覚悟で臨んだ。立食で食べ放題、飲み放題。はじめはグループごとに円卓に分かれていた参加者たちだが、時間が経つと皆うちとけながら、フランス人とも会話が弾む。フォーマルなワインパーティーとは対照的に、ドイツはカジュアル。門戸厄神駅前「Spoon Cafe」を貸切って、内装もパーティー会場らしく変身。青と白の風船が会場を彩っていた。

またワインパーティーと違うのは、こちらは完全に学生主体だということ。主催する学生たちは、準備で忙しい中、会場を走り回りながら、場を盛り上げていた。「みなさ



また、入口のそばにはフランス語の雑誌や新聞、本が置いてあり、待っている間もこの国に触れることができる工夫がされていた。昼休みには女性の2人連れやカップルなどですぐ満席になる程の人気。カフェを去るときには「Merci!」という言葉が客たちを見送った。



「乾杯!」の声とワイングラスがふれあう音と共に、フランス週間の最後を飾るワインパーティーが始まった。会場である関西学院会館「光の間」に集まったのは学生や本学の仏語教師、そして一般の人々。中にはなんとプロの仏語通訳の方たちも。壁際には5種類ほどの軽食と、ブルゴニニューワイン、ポルドーワインをはじめとするフランスワインがずらり。その数約50種類。どれを飲もうかと悩むの

もまた楽しい。ワインを選んだのは主催者のひとりである関谷先生。メニューも昨年のものよりは豪華に、と赤字覚悟で臨んだ。立食で食べ放題、飲み放題。はじめはグループごとに円卓に分かれていた参加者たちだが、時間が経つと皆うちとけながら、フランス人とも会話が弾む。フォーマルなワインパーティーとは対照的に、ドイツはカジュアル。門戸厄神駅前「Spoon Cafe」を貸切って、内装もパーティー会場らしく変身。青と白の風船が会場を彩っていた。

ドイツ週間

6/16 - 6/20

ドイツの「負」の歴史にスポットをあてる。それが今年のドイツ週間のコンセプト。この「負」の面を含め、ドイツへの理解を深めようというものだ。また学生が主体となるのがドイツ週間の1つの柱となっている。展示やパーティーも学生が中心だ。ドイツの背景に触れる数少ない機会を提供し、ドイツへ目を向けることが、このイベントの目的である。

突撃 インテンシブ コース

「インテンシブコース」の存在をもっとポピュラーなものにする。フランス・ドイツの間の隠れた目的はまさにこれだ。ならば、「インテンシブコース」の授業ってどんなもの？この素朴な疑問に答えるため、突撃取材を試みた。

「カルチャーショックは何が原因ですか。Thomas Spindler先生の唐突な質問。しかし、すぐさま学生が、「生活が違うからやん」と切り返す。この日邪魔したのはい、「初級II」のクラス。主に2回生、約10人が和気あひあ



Thomas先生の楽しい授業

「おつ、おもしろそうだな授業やん」と思ったそのアナタ！インテンシブコースに挑戦してみようですか。この先生の貴重な体験談も、随分な素晴らしい環境に飛び込んだら、嫌でもコミュニケーション能力はつきますよ。

「負」の歴史を知る

「アウシュビッツ」。たった一語のこの言葉から何をイメージするだろうか。大量虐殺ユダヤ人、ナチスドイツ、それともヒトラーだろうか。

「負のドイツを知る」という第一弾企画として、経済学部の中川慎二先生が、「ヘシヨア」とアウシュビッツスライドを見ながらアウシュビッツについて考える」と題して講演を行った。

本との戦後教育の違いについては到底知らない当時の状況に、参加者たちは絶句状態。全く言葉が出なかった。写真を見た後は、そんな中で生き残ったユダヤ人や、収容所で働いていた加害者たちをインタビューをしたドキュメンタリー映画、「シヨア」が放映され、当時のおびただしい現実が明らかにされた。涙ながら語る人、無理に明るく振舞う人。語り方は人によって大きく違う。その語りに参加者たちは吸い込まれていく。講演が終わりに近づくと、私たちの「アウシュビッツ」に対する認識は、より深く重みのあるものになっていった。最後に中川先生は、「ドイツでは学校教育の中で繰り返しのようになことを学んでいる」と指摘し、日

情報満載！ 展示会

第4別館2Fエントランス。ホールでは展示会が行われ、多くの人たちが立ち寄った。ドイツの歴史や有名ゆかりの土地、ドイツを代表するワインの名産地についてのパンフレットも数多く用意され、訪れた学生たちは興味深げに見入っていた。

ひととき目立っていたのは「ここが変だよ、日本人」と題された企画。これは、ドイツ人の視点から日本との習慣の違いを指摘するものだ。中には「日本人は普段お互いに目をあわそうとしないのに、飲み会になると、騒ぎ出すのはなぜなのか」というユニークなものも。ドイツ人から見れば、私たち日本人はとてもシャイに見えるのだろうか。

他にも、「ドイツ人はトイレに入る際にドアノブを、ガシャガシャ」と音を立てて確かめる」というものもあった。



「アウシュビッツ」の存在だ。彼の演説には多くの秘密がある。まずは人がイエスとしか答えられない事実を並べる。そしてその中に、イエスとは言い難い（例えば「ユダヤが絶え滅ぶまで戦え」ということなど）事柄をはさむのである。人はそれに気付かず、自然にイエス、とそれを受け入れてしまふのだ。イエス・セットといわれるこのテクニック。言葉の催眠術にかけられた人々、ゴミのように積み上げられたユダヤ人の死体。会場に流された実際のその映像が、無言のうちに悲劇を語る。先

フランス・ドイツ 限定メニューを斬る！

フランス週間の期間限定で、カフェテリアにフランス風メニューが加えられた。ニース風サラダ、ラタトゥーユ、添え鮭のムニエル、ブローチ、フライドポテト添え、ローストチキン、パン、焼きブリンドゥ以上5品である。学食のフランス料理は、本場フランス人の満足を得られるのか。そこで、フランス人3名を集めてもらった。協力をお願い

いたのはオリビエ・ビルマン先生、フランス政府留学局の日本支局長であるオルシニ・フィリップ氏、そしてナクリ・イム氏である。果たして、フランス風メニューのお味は？！



大崎先生が神戸屋を訪れたのは今回が初めて。「ドイツ風のお店ですね」と、まずその雰囲気が入った様子だった。何種類かあるドイツ風メニューから、大崎先生は「ハンバーグステーキ、デミグラスソース、フライドポテト添え」（650円）を注文。一口食べて、「おいしいです

という評価。安くとも、学食あたりがたし。一方、ドイツ週間では、神戸屋でドイツ風メニューが登場した。うれしいことに、期間限定メニューではないので、今後も食べることが出来る。ドイツ人の大崎ドローア先生に協力をしてもらい、その味について熱く語ってもらった。

「静修寮」に自由、独創的な発想で仮装して町を練り歩くと、一風変わった伝統行事、「田吾作旅行」がある。大正時代から続いているこの田吾作旅行は、百姓の不断の努力を理解しよう、ほろほろの服を身にまとい、手ぬぐいを頭に巻き、桑を担いで町を歩いたのが起源とされている。ほほほ年内目的地としていた京都では市内を中心に練り歩く。修学旅行生や一般の観光客、なかには外国人客がいて前で一発芸をする。そして移ることとなった。

「密着 寮行事 田吾作旅行」

加茂川に寮生が一人一人入って静修寮お決まりの挨拶を披露し、周囲を嘩然とさせ驚かせてきた。

しかし過去には、「やり過ぎだ」「恥ずかしい」等の意見が賛否両論を巻き起こし、一時は機能していなかった時期もあった。時代とともに寮生の考え方も変わって以前と同様の考え方も通用しなくなってきた。その度に、無茶な行動に走りぬよう少しずつ内容を改正していった。そして今年、従来の目的地であった京都からヤフーBBスタジアムへと移ることとなった。

「田吾作旅行の意義とは何か」という質問に対して、約16年間静修寮を見守ってきた寮母の滝本佳子さんは、「一見馬鹿馬鹿しいようだけどこの旅行を通して恥ずかしさがなくなり、度胸や器量が備わるのよ」と強調する。さらに寮で、最初から上下関係や寮則に慣れることができず悩んだりする1回生に対して「この行事を活かして個々の良さを引き出し、今後何かにチャレンジしたりする際に、自ら積極的に進む意欲がもてるようになってほしいですね」と心温まるメッセージを締めくくってくれた。

この行事は大胆かつ類まれな創造力が要求される画期的な試みである。1つ何かを成し遂げるために結束したこの純粋な精神は、彼らの自由奔放な行動をみれば確認できる。そんな彼らだからこそ、多くの人から好意的に受け入れられてきたのではないだろうか。

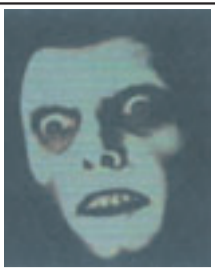
毎年、5月中旬に行われる田吾作旅行。一体来年はどんなことをするのか、既に今から楽しみである。

夏休みの暇つぶし 映画っていいですね

日本の夏は湿度が高く暑らしくいことこの上ない。そんな夏には映画を観て現実逃避するのが一番だ。というわけで、約90名の関学生の皆さんに協力してもらい、お勧め映画を検証した。

1 「リング」
貞子強し!! 洋画には無いねつとりとした恐怖が味わえる。

2 「ボイス」
衝撃のコリアン・ムービー。悪魔が乗り移った子供の奇怪な動きが恐怖を誘う。



3 「エクソシスト」
悪魔が乗り移った子供の奇怪な動きが恐怖を誘う。



4 「Last Summer」
青春+恋愛も一緒に楽しめる。たいにお勧め。

5 「学校の怪談」
誰もが経験した小学校時代。放課後の学校はいつもと違う。

「惜しくもランキングにモレたが、負けず劣らず背筋を東らせてくれる少数意見群。」

「四ツ谷怪談」
邦画独特の背後に視線を感じてしまふ不気味な恐怖。

「黒い家」
西村雅彦の動きが、大竹しのぶの顔が、怖い...!!

「長い夏休みタラタラと時を過ごしてしまおう!!」
ならいっそのこと、映画狂になっちゃおう!! とびうわで関学生にお勧め映画BEST5☆

「ライフ・イズ・ビューティフル」
ユダヤ人親子の物語。舞台はナチス占領下のイタリア。パパの嘘は人を幸せにする。美しい親子愛をどうぞ。



「レオン」
麻薬捜査官に家族を殺された少女マチルダと殺し屋レオン。麻薬捜査官への復讐を通して2人の間に芽生えたものは...力強くもはかない「愛」の形。

「I am Sam」
7歳の知能のまま大人になったサムは、誰よりも大切な一人娘からその知能のため引

き離されようになる。全ての人に必要なのは知能ではなく愛!! 不器用な親子愛が心を打つ。



「マトリックス」
この世界は本物か? と疑いたくなる。真実を知ることが幸せか、不幸せか? あなたならどちらを選ぶ?

「千と千尋の神隠し」
不思議の国へ迷い込んだ千尋。日本版「不思議の国のアリス」。

「ロード・オブ・ザ・リング」
映画化不可能といわれた超大作が描かれる主人公フロドと仲間たちの友情、愛、そして闇の勢力との戦い。フアンタジーの原点がここにあり。

「ベイウォード」
世界が平和になるためには何をすればいいか、1人の少年が考えた1つのアイデア。

「部員お薦め」
夏の映画
まずは、この夏8月9日公開の「恋は邪魔者」... レニール・ゼルヴィーとユアン・

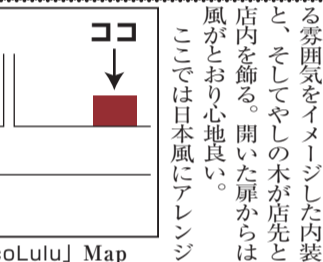
て切ない恋心。彼は新しい世界への扉を開いた。ストーリーを引き立たせる音楽にも注目☆

「Stand By Me」...あまりにも有名な一作。人生における今日という日は1日しか無いのだと気付かせてくれる。

「男はつらいよ」...懐かしい日本の生活臭が漂うこの映画は全部で48作。夏休み明けさくらがいかに健気であるかということに語りたくなること間違いなし。全14作の釣りバカ日誌と併せて見れば菌ごたえ十分。長い夏休みも暇知らずだ。

「プレス・ザ・チャイルド」
6歳の子供が誘拐される事件が続発。被害にあった子供達には誕生日が同じという共通点がある。それは悪魔崇拝が絡んだ連続的誘拐事件の始まりだった! 愛する我が子のために戦う女性を描いたカルトホラー。これを見れば真夏の夜も冷房いらす!

「ヴァージン・スーサイズ」
恋にロク、ダンスパーティーが世界の全てだった。大人は解らうとしない。男の子には解らない。13歳の女の子の気持ちなんて...。あの夏、リスボン家の美しい5人姉妹に何が起ったのか? 期間限定の心の痛み、アナタにも経験があるはず。



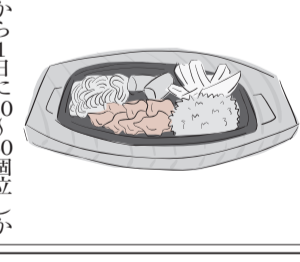
「あの頃ペニーレインと」
雑誌記者を目指す少年はその夏、ロックグループのツアーに密着取材することに。酒に煙草にいけない薬、そし

~君は制覇したか!?!~ 食堂噂のメニュー

食は、バブルのころ大変人気があったそうだが、560円という値段のせいや、回転率が悪かったこともあり、売りが落ちたので、食堂のメニューから外されてしまった。しかし、当時の味を知る教職員らの強い要望があり、今年の春から出されることになった。

現在の値段は、ジンギス定食380円で、20年前の味をそのまま再現したタレにじっくり7、8時間漬けたんだ。マインをぜひ楽しんでほしい。ジンギス定食は調理に大変手間がかかるので、昼食の時間帯には販売せず14時からのお出しとなっている。また、夕方18時頃の混雑した時間帯は避け、人の少ない16、17時に食堂に行ったらほうがよいそうだ。

次に、皆さんは「ロビンフット」で11時~14時まで販売されている「カツ飯丼」が弁当になっているのを知っているだろうか? 出来立てのモノを食べてもらいたいという思



いから1日に30、50個位しか作らないので売り上げはそれほどでもないが、現在上ヶ原学生食堂が出食している弁当で一番人気になっているのだ。出食している数の少なさもあり、売り切れることが多いので、まだ食べることができていない人も多いだろう。2限が早く終わった日には急いで「BIG PAPA」前の売店にいったり購入してみてもいいかも。

このほかにも、利用者に喜んでもらうために、上ヶ原キャンパスの学生食堂は、夏休みの期間を利用してメニューの見直しを予定している。秋学期のメニューがどのように変わるか今から楽しみだ。

ハワイ in 甲東園 この夏の一番近い南島

1歩足を踏み入れればそこはハワイ。その開放感あふれる雰囲気やイメージした内装と、そしてやさしい木が店先と店内を飾る。開いた扉からは風が心地よく吹いてくる。ここでは日本風にアレンジ

されたハワイ料理、そして種類豊富なトロピカルカクテルが楽しめる。料理では、ごはんやサラダとハンバーグ、そして目玉焼きをのせたココモコ丼、カクテルではチチなどココナッツミルク系が人気だ。またここは昼と夜では貸し出しを承ります」とのこと

甲東園のお店「CocoLulu」Map

Menu

- ココモコ丼 760円
- トロピタマゴのオムライス 850円
- CocoLulu風生春巻き 900円
- チョコカフェフラペチーノ 600円
- チョコ白玉パフェ 600円
- チチ 800円
- マイタイ 800円
- ブルーハワイ 800円



リゾート気分満喫!!

関学・神戸三田キャンパスから
一番近い AUTOMOBILE SCHOOL

授業のあいだに
楽々教習!

大型科・普通科 (MT・AT)・大型二輪科
普通二輪科 (小型限定)・審査科 (普通・自動二輪)



大学生協
サービスカウンターにて受け付け

お問い合わせは
お気軽にお電話で

TEL三田(0795)
62-2995(代)

SANDA AUTOMOBILE SCHOOL
SAS
SINCE 1963

公安委員会指定技能試験免除
三田自動車学院